

目標達成計画

事業所名 グループホーム かしょうの里

作成日：平成29年1月30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	ケアプランを常に見られる状況での支援・援助を行いプランに基づいた実践が記録に反映されていない。	ケアプランを意識した、支援・援助を行う。	各職員がケアプランを意識し、支援・援助に取り組む。普段の記録用紙の側に置き、いつでも見られ、意識できるようにする。	6ヶ月
2	1	理念の共有と実践がかみ合っていない。	理念の基づく支援・援助。理念の達成に向けてのチーム作り。	同じ理念を共有するチームとしての意識作り。各自の支援や援助はできていても、チームとしての取り組み力が足りていない。ミーティングや申し送りノート・研修などを通し、各自がチームという意識作りを行っていく。	6ヶ月
3	10	運営推進会議に家族の参加が得られていない。市職員や区長・民生委員・長寿会長など参加を得て行っているためか、平日の開催になりやすく、仕事を持つ家族の方の参画が難しい。	家族参加がしやすい運営推進会議のあり方を考える。	各家族様にあらためて、お願いや意見を聞き、参画のしやすい土曜や日曜の会議の日を設けてみる(年6回の実施日のうちの何回かで実施)。	1年
4	48	張り合いや楽しみ事の支援が、本人希望がなかなか得られず、事業所側の提供状態になりやすい。希望の表出の難しい利用者の意向がくみにくい。	その人が望むケアや、楽しみは何かなど、本人中心のケアを心掛ける。	本人の意向をキャッチし、楽しみや張り合いが持てる生活の援助を行っていく。レクリエーションの充実や本人の好きだったことのリサーチに心掛ける。	6ヶ月
5					

注)項目数が足りない場合は、行を挿入してください。